

“0の日”を中心に児童学区民の交通安全を



【牧の原学区】

■世帯数：1,517 世帯

■人 口：3,632 人

■面 積：0.462 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・「交通事故死0の日」に、交通量の多い高針牧交差点において、午前7時半から1時間、歩行者の交通安全指導を行う。延べ参加者数は約300人。
- ・地域の各種団体と警察署、交通指導員などが協力して、歩行者に交通安全を呼びかけている。

2 きっかけ、背景

高針牧交差点周辺は、名古屋高速東山線のインターチェンジや名古屋環状2号線があるため、通過交通量が非常に多く、歩道橋等の整備はされているものの、児童や学区民に対し、注意深く粘り強く、交通安全意識の向上を呼びかけ、運動していく必要がある。



3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、PTA、老人クラブ
計約 300 人（年間）

(2) 他団体との協力

警察署・交番、交通指導員

4 実施のスケジュール

- ・ 日曜日、祝日以外の「交通事故死〇の日」には高針牧交差点において、交通安全指導活動を実施している。
- ・ 「名東区安心・安全で快適なまちづくりの日」には、小学生を対象とした自転車の乗り方指導を実施している。



5 成果と課題

(1) 成果・効果

交通安全に対する住民の意識が高まった。また、活動を継続してきたことで、活動が住民に浸透し、住民から感謝の言葉をよくかけられるようになった。

(2) 今後の課題・展望

学区全体の児童の通学路の点検や、朝夕の通勤時の抜け道運転を行う車の点検など、より効果的な人員の配置を学校や警察と相談して取り組んでいきたい。